

香南市産業振興計画の主な取組一覧

- 農業分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・1ページ
- 林業分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・2ページ
- 水産業分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・3ページ
- 商工業分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・4ページ
- 観光分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・5ページ
- 住宅分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・6ページ

香南市の「6年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組み**を行うことが必要

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「**さらなる飛躍へのポイント**」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

現況事業

平成30年度の取り組み

H28 → H29 → H30 → H31

基盤整備・防災

- 農業生産基盤の充実**
 - ・県防災減災事業 基幹水利施設補修事業費負担金
 - ・防災施設対策整備【黒谷ため池（改修工事）1件】
 - ・排水機場施設整備【吉原排水機場（ポンプ及び電気工事）1件】
 - ・地域農業水利施設メンテナンス事業（頭首工）【総合堰・統合堰（改修工事）計2件】 ⇒ **H32年度事業に変更**
 - ・物部川統合堰整備事業【南国、香美、香南へ分水している堰、用水路の老朽化により機能診断保全計画作成】
 - ・農地耕作条件改善事業（頭首工）【門田堰（測量設計・改修工事）1件】
 - ・土地改良施設維持管理適正化事業【小林堰補修工事1件】
 - ・工業用水道整備事業（水路・道路等整備）【西中筋7水路（第2工区）・ナ丸1号線道路（第2工区）中組南18水路（第1工区）計3件】
 - ・農業集落排水整備（上岡地区集落環境整備事業）【8水路・16水路 計2件】
- 防災への対策**
 - ・農村地域防災減災事業（避難タワーの県事業負担金）【吉川地区避難タワー工事1件】
 - ・重油流出防止付装置燃料タンク整備事業（重油タンクの流出防止対策）【26件】

経営改善・担い手

- 担い手対策の促進**
 - ・担い手対策関係
 - ・担い手育成センター研修支援事業（施設野菜等の栽培や農業用機械の操作等の研修に対する助成）【10人】
 - ・研修・親元就業支援事業（実践的研修を行う研修生や受入農家に対する負担軽減）【7人】
 - ・農業次世代人材投資事業（青年就農者の確保及び育成を図る）【10人】
 - ・農業後継者推進事業（農業後継者の確保及び育成を図る）【15人】
 - ・実践型研修ハウス整備事業（新規就農者の確保及び育成を図る）【3棟】
- 経営の向上への対応**
 - ・園芸用ハウス関係
 - ・園芸用ハウス整備事業（新規就農・規模拡大する農業者に対しハウス建設に対し助成）【19件】
 - ・園芸用ハウス復旧支援事業（自然災害で被災したハウスの復旧整備に対して助成）
 - ・経営所得安定対策推進事業（農作物の生産振興や米の需給調整の推進）
 - ・農地中間管理事業（担い手への農用地の利用集積を促進）【5件】
 - ・環境制御技術導入促進事業（炭酸ガス発生装置等の導入に助成）【19件】
 - ・産地パワーアップ事業（産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援）
- 農産物のブランド化の推進と加工品の開発**
 - ・農山漁村振興交付金事業（6次産業化の取組による拠点ビジネスづくり）
- 消費者の安全安心志向への対応**
 - ・地産地消推進協議会補助事業（地域で消費する地産地消活動を円滑に推進する）【38%市内野菜の使用率】
 - ・信頼される産地づくり支援事業（出荷前農産物残留農薬検査に対する助成）【123検体】



中山間

- 農地の保全と活用の促進**
 - ・中山間地域等直接支払事業（中山間地域の農業生産条件が不利な地域における事業）【11組織】
 - ・多面的機能支払事業（農地や農業用水等の資源の保全と質的向上を図る事業）【10組織】
- 有害鳥獣被害対策（有害鳥獣被害に対する対策事業）**
 - ・鳥獣被害対策実施隊 500頭羽【目標値：イノシシ220頭、シカ150頭、カラス・カワウ他】
 - ・有害鳥獣被害防止事業【延長10,000m】



★事業化を目指す

- ・経営体育成基盤整備事業（区画整理事業）
- ・中山間地域総合整備事業（区画整理事業）
- ・排水機場耐震機能診断（耐震機能診断及び補強工事）

★加工・流通・販売などの体制を強化する

- ・高収量、高品質への取組強化
- ・生産と一体となった加工ができる体制づくり
- ・販売戦略等に対する関係機関との連携強化

将来

4年後の目標 (H31年度末)

基盤整備の強化により、本市農産物の品質を高め、生産量を増やす

新たな担い手の確保と地域の中核となる農業者等の規模拡大を進める

- 新規就農者数【49人】 ※H28～31累計
- 園芸ハウス整備面積【60,000㎡】 ※H28～31累計
- 環境制御技術導入農家数【90戸】 ※H28～31累計

地域農業を担う経営体の育成

生産と一体となった加工ができる体制づくりを目指す

農業者の収入につながる地域資源の加工を進める

- 学校給食への市内産野菜（主要品目）の使用率【39%/年】

中山間地域の資源を活かした商品開発、販路拡大を支援

- 集落営農の育成
- 有害鳥獣捕獲数【2,000頭】 ※H28～31累計

さらなる飛躍へのポイント

生産性、技術の向上と、安全・安心による選ばれる産地の形成

一経営体あたりの収入をアップ

担い手へ農地を集積

施設の高度化・大規模化

経営力のある企業的経営体を育てる

地域特産物の販売強化

農産物加工販売拠点の創出

農業生産品の加工・流通・販売を担う農業法人の育成

中山間で収入を得る仕組みを定着

6年後の目指す姿 (H33年度末)

農で働き 香南市で暮らす

- 認定農業者 5人/年
- 新規就農者数 16人/年



まちづくりや他産業と連携した 稼ぐ農業



若者から お年寄りまで 笑顔で暮らせる 中山間の農業の 確立



地域で暮らし稼げる農業

新規就農者数 7人（H29）

香南市の6年後の目指す姿を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組みを行うことが必要**

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「**さらなる飛躍へのポイント**」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

平成30年度の取り組み

現況事業

H28 → H29 → H30 → H31

基盤整備

◆林業の振興

○林業生産基盤の充実

- ・林道道路側溝整備事業
 - ①畑山・仲木屋線擁壁復旧工事【L=10.0m A=35.2㎡】（6月末完了）
 - ②城山・羽尾線側溝清掃事業【A=3,000㎡】⇒ **災害の影響により中止**
 - ③城山・羽尾線舗装工事【A=400㎡】⇒ **災害の影響により中止**
 - ④水源の森保育間伐事業 物部地区香南市有林（11月から間伐開始予定）

◆林業の振興

○森林の多面的な利活用の促進

- ・緊急間伐総合支援事業
（森林造成及び森林整備の充実を図ることにより森林の持つ水源涵養機能、国土保全機能を高めると共に水資源の確保に資する）
【切捨間伐（10ha）…香我美町奥西川・撫川、夜須町羽尾・沢谷・仲木屋】⇒8.57ha実施
【保育・搬出間伐（58ha）…夜須町仲木屋】⇒16ha実施
【作業道整備（1,700m）…香我美町撫川・舞川・西川 夜須町仲木屋】⇒ **1,100mに変更**

・森林整備地域活動支援事業

- （小規模に分散している森林を取りまとめて、一体的に施業を行う集約化を推進し、効率的な森林整備の充実を図る）
【森林所有者境界明確化（50ha）…夜須町沢谷】⇒ **香我美町撫川 50.61haに変更**
【条件整備（作業道の改良 38ha）…夜須町沢谷】⇒ **豪雨災害の影響により中止**

・森林・山村多面的機能発揮対策事業（里山の保全・森林資源の利活用等の取組に支援）

- **林地台帳整備事業（森林情報の確認・提供及び地図の公表）**
- ・森林整備推進事業（高性能林業機械導入）
【8tベース・グラップル付きトラック】1台 ⇒ **国費不採択により延期**
【プロセッサ】1台 ⇒ **年度内導入**

木質バイオマス

◆林業の振興

○森林の活用

- ・木質バイオマス利用促進事業（木質バイオマスボイラーの改良及び低コスト化）
- ・木質バイオマスエネルギー利用促進協議会事業（推進体制の強化、参加者の拡大等）
- ・CLT建築推進協議会事業（CLTの普及促進）

◆林業の振興をめざす

- ・林業の生産性向上
- ・林業の保全活用
- ・作業道路の充実
- ・水源涵養機能、国土保全機能を高める
- ・林業の機械化
- ・間伐端材の有効活用
- ・人材育成

将来

4年後の目標
(H31年度末)

さらなる飛躍
へのポイント

6年後の目指す姿
(H33年度末)

森林の持つ公益的機能の維持増進

- 搬出・切捨間伐…250ha
- 作業道整備…13,500m
※H28～31累計

森林の集約化と経営委任の推進

- 森林経営計画の整備
現況1計画 400ha
目標2計画 600ha

公共事業や公共施設での県産材の利用促進

木質バイオマスエネルギーの利用促進と多面的利用の拡大

- 農業ハウス用ペレットボイラー数 現状維持 (H27.2基)

CLT建築の普及促進と林業の振興

森林境界明確化面積

600ha以上(累計)を目指す

作業システムの改善による原木生産の効率化

鳥獣害対策の加速

森林の集約化を一層推進

原木の販売価格安定

森林経営計画の樹立

6計画 800ha



森林資源活用加工販売拠点の創出

木材を含む山林資源の加工・流通・販売を担う営林法人育成

持続可能な森林づくり

荒廃森林の解消

県産材を使用した木造住宅への支援

地産地消の推進

県産材使用住宅の普及

公共事業、公共施設での木材利用のさらなる推進

森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出

森林境界明確化面積

285 ha

(H26(累計))

香南市の「6年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組み**を行うことが必要

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「**さらなる飛躍へのポイント**」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

平成30年度の取り組み

現況事業

H28 → H29 → H30 → H31

改修整備

◆水産業の振興

- 水産機能施設の整備（老朽化に伴う各種漁業用施設の改修・整備等）
 - ・県漁協赤岡支所 荷捌所ホイスクレーン設置工事
 - ・県漁協手結支所 製氷機他更新事業（リマ区域周辺漁業用施設設置事業費補助金）

○漁港施設の整備

- ・水産物供給基盤機能保全事業（ストックマネジメント事業）
（適正な施設の維持管理及び計画的な保全工事の実施→施設の長寿命化と更新コストの平準化・縮減）
吉川漁港-1.5m物揚場（北）保全工事 ・船揚場（4）保全工事 改修整備率 37%
- ・吉川漁港外灯取替工事
- ・吉川漁港浚渫工事
- 吉川漁港海岸堤防耐震調査事業
- ・県営事業
 - ①赤岡漁港3号導流堤保全工事・浮棧橋設置工事
 - ②河川海岸高潮対策事業（岸本海岸 離岸堤設置・養浜） ③海岸陸間常時閉鎖推進事業

経営基盤強化

◆水産業の振興

- 新規漁業就労者支援事業（1名の確保）
- 漁場の保全（水産資源生息の場の修復や漁場清掃など、漁場生産力の回復を図る）
 - ・藻場再生事業、掃海事業 → 豪雨及び台風の影響によりH31.3月に実施予定
- 漁業者の所得向上
 - ・シラス漁における所得向上の為の協議継続
（加工技術の向上、販路の拡大、沖止め解消、鮮度保持の徹底等）
 - ・沿岸漁業設備投資支援事業【エンジンリース等】

生産・加工・流通・販売

◆水産業の振興

- 水産加工品流通販売の推進
 - ・地産地消推進事業
（市民への地産地消の普及啓発と学校給食と連携した食育活動の実施）
（学校給食への地元水産物納入に向けた協議）
 - ・地場水産加工品等推進事業
（水産加工品の付加価値を向上するための取組みを総合的に支援する）
：シイラ加工商材活用、シラス加工品による新たな事業化の検討
- 具漁協手結支所：保冷車購入事業（香南市産業振興計画施設等整備事業費補助金）
- ・体験学習（魚についての学習、魚の三枚おろし学習、料理教室）



★事業化を目指す

- ・養殖漁業、内水面漁業の推進

★加工・流通・販売などの体制を強化する

- ・水産加工業の新たな事業化の推進 ・漁業者による6次産業の事業化
- ・地域加工グループによる雇用の場の確保 ・水産物の加工、商品化事業の強化促進
- ・水産加工品の販路拡大の促進

★水産業についての学習の場づくり

- ・地域の水産業に親しみ環境づくり（教室や講習会の開催、体験学習、どろめ釜揚げ体験、市場体験 など）

将来

4年後の目標 (H31年度末)

漁業の生産高を伸ばし 漁業収入を向上

- 漁港施設の保全、改修整備率 43%
- 水産機能施設件数 12件
- 除去地区の海藻類育成被度 70%
- 新規就業者（中核漁業者）を4名（1名/年）確保

地産地消の推進

- 食育活動の展開
- 水産物ブランドの確立
- 手結加工場による給食センターへの食材納入回数 11回

地域の雇用の場を確保

- 手結加工場の雇用人数 4人※H28~31累計
- 手結加工場の販売金額 3,000万円

さらなる飛躍へのポイント

沿岸から沖合までの多面的活用

地場産魚としてのさらなる認知度向上

民間企業や新規業者が参入しやすい環境整備

高知県漁協の買取販売の抜本的な強化

買受人のさらなる連携による戦略的な外商活動の展開

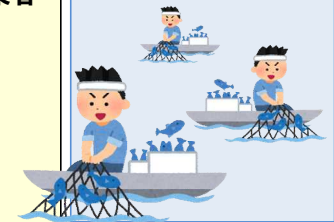
水産品並びに観光漁業活動拠点の創出

水産品の加工、流通販売を担う水産法人の育成

6年後の目指す姿 (H33年度末)

にぎわいのある 漁業・漁村

●新規就業者（中核漁業者）を 16名確保



香南市ブランドの展開

加工で広がる 漁村の雇用

- 水産加工業の取扱高増加
- 漁村における雇用の安定確保

沿岸漁業生産量1200トン以上維持を目指す

資源回復と経営力の強化により稼げる水産業

沿岸漁業総生産量

839トン (H29)

香南市の「6年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組み**を行うことが必要

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「**さらなる飛躍へのポイント**」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

平成30年度の取り組み

現況事業

H28 → H29 → H30 → H31

も
の
つ
く
り
の
基
盤
整
備

◆商工業の振興

○企業誘致の促進

- ・香南工業団地整備事業
分譲済4社、残り1区画、早期完売を目指す ⇒ (6/14) 分譲完了
- ・香南工業団地企業立地促進事業
土地購入費の10%を補助
香南工業団地区域内への企業の立地の促進を図るため必要な措置を講ずることで、雇用の促進及び産業の活性化を図る
- ・ルネサス高知工場及び川谷刈谷工場用地
ルネサス従業員の雇用確保及び事業承継先の確保 ⇒ (9/28) 旧ルネサス譲渡契約
川谷刈谷第二工場用地への企業誘致を図る。



▲香南工業団地

新 企業立地優遇制度の策定

情報通信業、サービス業に係る奨励措置の新設



◆商工業の振興

○既存企業の育成・支援

- ・香南市香我美町立地企業交流会
市内の企業間の情報交流の場をつくり、連携した事業展開を行うことができるよう支援する交流及び情報交換を行い、企業同士の横のつながりを強める (11/21 開催)
- ・香南市ものづくり会
市内の企業間の情報交流の場をつくり、連携した事業展開を行うことができるよう支援する交流及び情報交換を行い、企業同士の横のつながりを強める (1月～2月開催予定)

拡 香南市産業人材育成事業

- 市内中小企業者または中小企業団体を担う人材育成を支援するため、研修会などに参加する経費の一部を補助 (H30年度より公的団体以外の法人が実施する研修などを補助対象事業に追加)
- ・香南市未来人材育成奨学金返還助成事業
大学等卒業後、市内の製造業の事業所に新たに就職した若者を対象に、奨学金の返還額の一部を助成

・香南市インターンシップ支援事業

市内の製造業の事業所が実施するインターンシップに係る宿泊費の一部を定額補助

も
の
つ
く
り

◆商工業の振興

○既存企業の育成・支援

- ・香南市緊急融資保証料補給金交付事業
セーフティネット保証制度、中小企業信用保険法第2条第5項に該当し、信用保証協会が保証を行った保証料に対して0.1%の補給を行う
- ・各種免除、助成事業
企業の投資額等の算定による固定資産税の課税免除、新規誘致企業と連携した助成制度

○魅力のある商業地・商店街づくり

新 街パレイバントの開催

市街地活性化と、飲食店を中心としたPR・集客支援を目的として街パレイバントを開催し、香南市の魅力をアピールする。(11/19～25 開催)

○空き店舗等の活用

- ・空き店舗等を活用した拠点づくり事業
空き店舗等を活用した拠点づくり事業の実施・助成事業の構築



○新規企業の育成・支援

- ・各種融資事業 (国、県、信用保証協会の有利な融資制度を活用する)
- ・商工会との連携事業
市内金融機関との情報交換、商工会各支部との連携強化、商工会による経営発達支援事業への支援
- ・創業支援利子補給金交付事業
市内金融機関が行う「創業に関する資金融資」に対して利子補給を行う

4年後の目標 (H31年度末)

積極的な設備投資と技術力の強化が相まって、生産性や競争力が向上

- 新規企業立地件数 5件
- 新規雇用者数 160人
※H28～31累計

既存事業者の育成・支援を商工会と連携して推進

- 懇談会の開催 1回/年 (継続)

地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを促進

- コミュニティガイドブックへの掲載店舗数 200店

- 空き店舗の新規活用件数 2カ所

地域ぐるみで小規模事業者に対する面的支援 (行政の行う各課の各種事業と、ポイント事業の連携推進など)

- ポイント事業の導入 (健康パスポート事業を取り入れていく)

さらなる飛躍へのポイント

企業立地の推進
産業発展を支える優良な工業・流通・レジャー等の産業立地誘導拠点の整備

企業の設備投資の促進とものづくりをリードする中堅企業の育成

産・官・学の連携
人材育成
次世代の成長産業の育成

観光型商業拠点の創出

地産地消・外高活動のさらなる強化と賑わいのあるまちづくり

6年後の目指す姿 (H33年度末)

競争力のある企業が育つ産業集積の拡大



香南ならではの技術やノウハウを活かして、存在感をアピールできるものづくり産業の創出

地域活性化と雇用の創出



製造品出荷額等 500億円以上を目指す

ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わい創出

製造品出荷額等

371億円 (H28)

香南市の「6年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組み**を行うことが必要

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「さらなる飛躍へのポイント」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

平成30年度の取り組み

H28 → H29 → H30 → H31

現況事業

核となる観光拠点の形成

◆観光の振興

○新たな観光拠点の整備

・三宝山観光拠点化
基本構想や基本計画等で議論してきたコンセプトは活かしながら、三宝山エリア一帯で、持続可能な観光拠点化に向けた取り組みに参画していただけるよう、事業間の調整を行う。



○観光拠点の強化

・ヤ・シィパーク周辺地域の活性化
特産品を活用した氷菓や焼き菓子類を製造・販売し、集客の増加を図る。また、催事出店やネット販売など販路の拡大や、旬の地域食材を活用した季節ごとの目玉商品を開発する。
●ポスト幕末維新博（自然体験型キャンペーン）を見据え、自然体験等の磨き上げを行う。



○歴史を中心とした博覧会（志国高知 幕末維新博）の開催

・歴史資源の磨き上げ(リアル化)と周遊コースづくり(クラスター化)の取組
地域会場であるアクトランド、絵金蔵を中心に作成したPDCAシートを活用し、集客と周遊観光を促進することで、維新博終了後も継続して全国・海外から多くの誘客を図る



○観光施設間の連携

・観光施設連絡会の開催
課題の洗い出しや施設間の情報共有及び連携強化を図る。また、平成29年3月からの志国高知幕末維新博開催期間中に事業を活用し、観光クラスター形成を図る。

○地域に親しむ観光の促進

・歌舞伎でまちおこし
出前講座及びワークショップを開催する。また、歌舞伎体験等の観光メニューを開発する
・塩の道を活用した取組
塩の道トレイルランニングレース及び塩の道ウォークを実施する
・サイクリング事業
県及び関係市町村と連携し、サイクリングコースの環境整備をする自転車の取組を実行する団体の設立
タンデム自転車の活用、推進



○物部川エリア広域観光推進事業

・物部川エリア広域観光連携事業（高知県観光活性化ファンド）
物部川流域に関連する地方公共団体、地域公益団体、事業者、金融機関及び教育機関等で組織された物部川DMO協議会において、観光マーケティング戦略の企画・立案を行う「株式会社ものべみらい」と連携し、観光資源の磨き上げや周遊コースづくり、人材育成、インバウンド向け施策の検討を行い、物部川地域全体への経済効果を期待できる事業を展開する。

○活性化に向けたあらゆる産業との連携の強化

・市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業（「香南まるごと旨市」カタログ販売）
市内事業者の商品をカタログやチラシ、ネットで販売。また、カタログの商品をふるさと応援寄附金の返礼品として活用し、販売額増加につなげる
H29から引き続き、健康パスポート事業のなかで健康ポイントの特典として商品を活用する
・地域まるごと旅行商品の開発販売及びランドオペレーター機能構築事業
旅行商品及び体験ツアーを企画・提案し、エージェントへのプロモーション活動を実施する

人材の育成

○おもてなしの向上

・まちの案内人会
勉強会や研修を通じて、観光産業を担う人材を育成する

国際観光の推進

○外国人観光客の受入体制づくり

・観光誘客ツールの整備
外国人観光客受入研修の実施 ⇒ (8/30 開催)
多言語化した観光パンフレットの整備



・大型クルーズ船の誘客促進
コース設定し、観光コンベンション協会等を通じて、ツアーエージェントにプロモーションを行う

4年後の目標 (H31年度末)

核となる観光拠点の整備

●三宝山観光客数
年間10万人以上

観光資源の発掘及び磨き上げの推進

広域観光の推進

●主要観光施設
入込数 732,500人

サイクリング事業の拡大

●サイクリングコース数
6コース

観光施設の連携促進

●観光施設連絡会の開催
4回/年

効果的な広報及びセールス活動の推進

人材の育成

おもてなし意識の向上

香南市情報発信及び外商活動の拡大

国際観光の推進

●公衆無料Wi-Fi整備箇所
6カ所

さらなる飛躍へのポイント

全国に通用する核となる観光・商業活性化拠点の形成とネットワーク構築

三日以上滞在できる質の高い観光地づくり

高知龍馬空港などからのアクセシビリティの向上

市内交通アクセスの充実

ヘビーリピーターの拡大 (年に2回以上)

おもてなし意識の醸成

6年後の目指す姿 (H33年度末)

観光立市として、市民にもその意識が定着している

高知家のトップランナーとなる

「歴史」、「食」、「文化」など、本市が持つ優位性が観光地づくりに生かされ、国内外から市内各地に観光客が訪れることで、地域の活性化につながっている

本市が持つ個性に県外客が惹かれ、リピーターとなって繰り返し訪れているとともに、中長期の滞在も進んでいる

観光拠点間を結ぶ交通アクセスの進展に伴い、様々な形の周遊観光が根付いている

地域の魅力が人を誘う、世界に通じる観光産業

観光施設入込客数 107.7万人 (H29 暦年)

香南市の「6年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組み**を行うことが必要

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「**さらなる飛躍へのポイント**」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

平成30年度の取り組み

H28 → H29 → H30 → H31

現況事業

住環境の整備

- 住宅リフォーム補助金制度
 - ・市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合に、その工事費用（消費税抜き）の20%（下限:10万円以上の工事・上限:100万円以上の工事は一律20万円）を補助
 - ・予算額 1,500万円 ・募集期間…5月14日～5月25日 ※H31年2月末に完了する工事
 - ・市内に本社または本店を有する施工業者または市内に住所を有する個人の施工業者による工事。
 - ・市内施工業者がわからない場合、高知県建設労働組合香南支部に協力を依頼。



市営住宅の整備

- 市営住宅の整備
 - ・「香南市市営住宅管理計画（香南市公営住宅等長寿命化計画）」を策定
 - ・改良住宅ストック総合改善事業
 - 環境保全のため単独浄化槽を 合併浄化槽に変更
 - 福祉対応型に向けて手すりの設置
 - ・市営住宅単独事業
 - 住み替え対策

住宅の耐震化

- 南海トラフ地震への備え
 - ・住宅耐震診断事業
 - 木造住宅…診断費用の自己負担3千円、非木造住宅…3万円補助
 - ・住宅耐震改修費補助事業
 - 香南市「住宅耐震診断事業」による耐震診断を受診し、総合評点数が1.0未満と診断された住宅に対して、設計及び改修費用を補助
(設計1棟あたり305千円、改修1棟あたり1,000千円を限度)
 - ・コンクリートブロック塀耐震対策事業
 - 避難路等に面している危険性の高いコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンスなどに造り替える経費に対して補助（上限205千円）



空き家対策

- 老朽化した住宅等の除去
 - ・老朽住宅等除却事業
 - 避難路等に面している又は延焼等により近隣住宅に影響する場所に存在する著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助。（補助率80%、上限1,645千円）
- 移住者向け住宅の確保と促進
 - ①香南市ウエルカム移住・定住促進事業
 - 香我美町の東川・西川地区と夜須町の北部地区の中山間地域をモデル地域として 空き家を活用した移住施策を実施。
 - モデル地域の空き家所有者から活用可能な空き家を市が10年間借り上げ、改修し、定住の意思がある希望者に市から貸し出す。
 - 【お試し滞在住宅「西川」】 利用料 : 15,000円/月額
利用期間 : 1ヶ月単位で最長3ヶ月
 - ②香南市空き家改修事業費等補助金
 - 市の空き家バンクに登録し、登録物件が貸借や売買の相手が決まった場合、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対して耐震化を必須とし、断熱改修・トイレの水洗化等、住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用や、空き家の荷物整理処分費を補助
 - ・改修事業費補助（補助率10/10以内、上限1,824千円）
 - ・耐震性のある場合、畳の表替え等の軽微な修繕費用を補助
(補助率10/10以内) 利用者が県外移住者 上限 200千円 財源：県1/2・市1/2
利用者が県内市外移住者 上限 100千円 財源：市単独事業
 - ・荷物処分費補助（補助率1/2以内） 利用者が県外移住者 上限20万円
利用者が県内市外移住者 上限10万円



4年後の目標 (H31年度末)

住まいの質の向上

市営住宅の住環境整備

- 単独浄化槽を合併浄化槽に変更と手すりの設置
改良住宅 98棟
- 長寿命化に向けて屋根外壁改修工事
改良住宅 10棟

災害に強いまちづくり

- 耐震診断件数 1,303件

「移住・定住促進」の仕組みづくり

- 市外から移住者 20組 ※H28～31累計
- 空き家バンク登録数 25棟 ※H28～31累計



さらなる飛躍へのポイント

支援策の拡充

市営住宅の長寿命化

支援策の拡充

支援策の拡充

6年後の目指す姿 (H33年度末)

地域経済の活性化

市民の生活環境の向上

住宅関連産業の振興及び事業者の所得向上

香南市に安心して住み続けてもらう定住環境の充実